



こうせい かつわく
鋼製型枠の
せつけい せいぞう
設計・製造

はし どうろ たてもの ひつよう かつわく
橋や道路、建物をつくるのに必要な「型枠」を
つくり、みなさんの暮らしを支えています。



もっと、くわしく
みてみよう！

とだ こうぎょう かつわく せいぞう
戸田工業株式会社

所在地／恵庭市戸磯345-15 TEL.0123-32-2177 <https://www.toda-mold.co.jp>

設立／1966年(昭和41年) 従業員数／75名(2024年3月現在)

わたしたちのしごと 私たちの仕事

はし ビルは、コンクリートでできた大きなブロックを組み
あわせてつくられています。コンクリートは、固まる前は軟
らかいため、四角いブロックをつくるには四角い「型枠」が
ひつようです。私たちはこの型枠をつくり、大きな構造物をつ
くるための手助けをしています。例えていうなら、ケーキの生地を流し入れる「型」をつ
くるのと同じです。工場でつくられた型枠は全国に運ばれ、さまざまなものをつくるの
に役立っています。みなさんの安全な暮らしを支える、縁の下の力持ちなんです。



▲恵庭にある工場

? どんなものをつくっているのかな？

●橋の「桁」の型枠



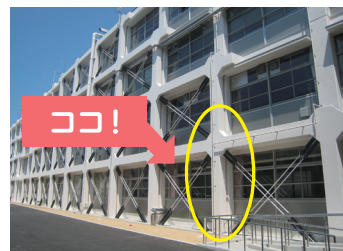
「桁」には、人や車の重さを支える重要な役割があります。橋や道路などをつくる時に欠かせないものです。

●鉄道の「枕木」の型枠



「枕木」とは、鉄道のレールの下に敷くコンクリートの棒のこと。レールを支え、間隔を一定に保つ役割を持っています。

●建物の「補強材」の型枠



「補強材」は、地震で建物が崩れるのを防いでくれます。学校やビル、マンションの壁などに使われています。

ほかにもこんなものをつくっているよ！

ぜんこく こうじ げんば つか
全国の工事現場で使われる
「クレーン」もつくっています。



型枠をつくるのにかかる時間
は約1か月。大きいものだと
40mになり、つくるのに6か月
かかることもあるんだって！



型枠ができるまでの流れを見てみよう！

型枠は、鉄板を機械で切断・加工・溶接してつくります。ここでは、橋をつくるための型枠ができるまでの流れを紹介します。

① 設計



橋の大きさやつくりに合わせて、
型枠の設計図を作ります。

※設計は大阪の本社で行っています

② 製造打ち合わせ



恵庭の工場で、つくり方や完成ま
での流れを話し合います。

③ 製缶(加工)



鉄板を、型枠づくりに必要な大き
さや形に加工します。

④ 製缶(溶接)



設計図の形になるよう、鉄板同士
をくっつけて部品をつくります。

⑤ 完成



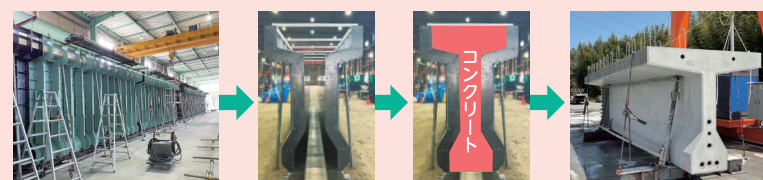
④でつくった部品同士をボルトを
使って組み立てたら、型枠の完成
です！

⑥ 出荷

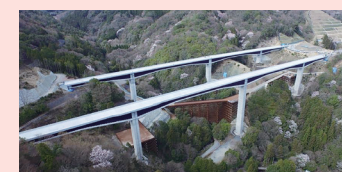


完成した型枠は、トラックに積ま
れ苫小牧の港へ。その後、フェリー
で全国へと運ばれます。

出荷された型枠は……



職人さんによって組み立てられます。そこにコンクリートが流し込まれ、巨大な
ブロックが作られます。



高速道路に
かかる橋
(大阪府)

できあがったブロックは、
こんなに大きな橋の
一部になっているんだって！



はたら ひと こえ 働く人の声

製缶(溶接)工場
本田 大樹さん



「製缶(溶接)」の作業を担当しています。図面を見ながら少しずつつくり上
げていくのはとても楽しいですし、出来上がったものを見た時には、大き
な達成感を得ることができます。